

岩柳・周南

岩国総局 ☎0827(2)9980 FAX(2)7745
柳井支局 ☎0820(2)0247 FAX(2)40012
大島支局 ☎0820(7)20312 FAX(7)90005
玖珂ステーション ☎0827(86)7155

防長本社 ☎083(96)0451 FAX(96)33332
周南支局 ☎083(42)13571 FAX(42)1195
光・下松ステーション ☎0833(74)2500

川柳

◆下松多宝瑠川柳会(下松「おまけ」)
借金に利子がおまけでつい、
テレシヨップ今なら更に、
断れぬデートのおまけに母を、
わたしまでおまけみたい、
幸せのお裾分けです貴い、
又行こう一つおまけとくれ、
ちよっとだけおまけついで、
帳帳に買、
取っつけばグリコのおまけ、
ガチャガチャに親子で群れ、
おまけ付き初婚の男に子が、
おまけだま棄すそのものより、
出で



会場を彩る金魚ちょうちん

◆金魚ねぶたを「爆走」させる子ども



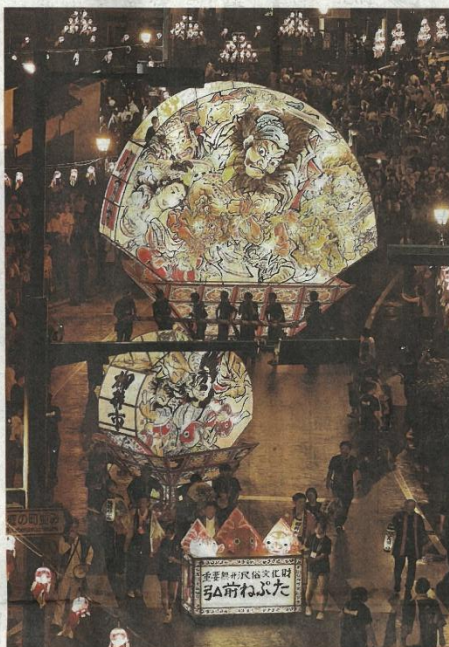
笑顔で金魚ちょうちん踊りを披露する踊り手



柳井の夜を照らす 金魚ちょうちん祭り

柳井市の夏の風物詩「金魚ねぶた」と青森県弘前市の「弘前ねぶた」の共演が実現した。JR柳井駅前や、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)「白壁の町並み」二帯で、13日に開かれた柳井金魚ちょうちん祭り。大勢の家族連れたちが訪れた。弘前ねぶたは柳井金魚ちょうちんのルーツ。祭りの35回目を記念して1基を招いた。恒例の金魚ねぶたの「爆走」と併せ、会場を何度も沸かせていた。

(写真・河合佑樹、文・山田祐)



麗都路(れとろ)通りを練り歩く弘前ねぶた



ネモフィラは空の青をま、
蓮摘む記憶の中の生家、
一片の落花気になる行方、
タンポポのボボが咲いて、
冬日和のお日様に、
今一度初音聞かんと手を止、
玻璃越しの小島をなぞる春、
ついでに摘む青比、
交流路ハゲツにミモザ、
橋渡る僧の衣や温泉、
囀りに返す口真似、
一陣の風をつかみ、
人住まぬ家、
鳥鳴に入る石垣城、
美しきまま未、
人去りて小手毬の花、
節の美味い井、
お久しぶりの箱の中、
◆多宝瑠川柳会(下松

宇宙利用の道

長井正彦

〈221〉

では、過放牧による生態系の破壊を防ぐため、先住民や遊牧民が培ってきた伝統的な回遊放牧の知恵と、人工衛星によるモニタリングをはじめとする科学技術を融合させ、炭素固定や生物多様性を守る新たなモデルの構築を目指す。遊牧民の生活基盤の保護に、衛星データが活用される。

◆岩国青潮短歌会(岩国市)
夢にぐる君の面影ととける声か
すかなり耳朶のさびし
煙口 博子
ふらふらと牽手前を承らえて走
れD51脱線覚悟 川崎 英雄
バダル漕ぎ渡りあたりを迷った
十八歳に新しい地図 須山佳代子
洗濯のじやまではないか朝露の板
恒退助つけ髭のか 井川 栄子

◆山下短歌会(岩国市)
童話くり自分でセリフつけながら
ハイジの世界に入りゆくおさな
ゆつくりでいいよと声をかけける
る整形外科の中年の技師 明石 恭子
久しぶり一歳の曾孫連れてくる
いでと呼べばママに抱きつく 岡崎 正代
散歩道優しい声でうぐいすは春が
来たよと教えてくれる 松本 美子

◆多宝瑠川柳会(下松

◆多宝瑠川柳会(下松

獲探る



地球規模の土地劣化

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムに

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムに

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムに

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムに